島根県斐川町商工会女性部おもてなし交流プラン

神在月とご縁のたび

～出雲神話と古代の歴史を体験しよう！～

神在月に全国から出雲大社へ集まられた神々は万九千神社に立ち寄り、直会（なおらい）と呼ばれる宴を催して各地へ旅立たれます。美肌県でも知られる島根県。斐川町には「日本三美人の湯」で有名な湯の川温泉もあります。また、今から２０００年前の弥生時代に製作されたとみられる日本最多の青銅器群（国宝の剣・矛・鐸）が発掘された国史跡の荒神谷遺跡なども含め出雲神話や古代の歴史へ触れてはみませんか。

たくさんの観光名所から地元女性部が厳選したオリジナルプランを提供いたします！心温まる時間となるよう女性部で精一杯おもてなしいたします。是非お気軽にご連絡お待ちしています。

①荒神谷博物館（こうじんだにはくぶつかん）

②道の駅　湯の川

③お食事（斐川町おすすめの料理）

※一例　出雲空港ホテル（写真はイメージ写真です）

④万九千神社（まんくせんじんじゃ）

【モデルコース】

10：00～ 荒神谷博物館

11：00～ 道の駅『湯の川』

12：00～ 地元女性部のおすすめランチ

13：30～ 万九千神社

★おすすめポイント★

☜地元女性部と交流をし、博物館の視察！

☜おすすめのお土産を紹介します！

☜いっしょにランチを楽しみましょう！

☜全国大会でご講演いただいた錦田宮司様による「特別祈願祭　結び参り」※要予約

その他観光名所

・御井神社、出雲キルト美術館、豪農屋敷、出西窯、築地松など

提案プランNo.

様式 1

～ 地域の魅力“いいとこ”“いいもの”発信！ ～

商工会女性部 おもてなし交流事業「おもてなしプラン」提案書

都道府県名	島根県	市町村名	斐川町
ふりがな	ひかわちょうしょうこうかいじょせいぶ		
女性部名	斐川町商工会女性部		
所在地	島根県出雲市斐川町上庄原1749-3		
URL	http://hikawa.shoko-shimane.or.jp		
TEL	0853-72-0674	FAX	0853-72-0765
E-Mail	hikawasho4011@shoko-shimane.or.jp	女性部担当者	石飛優美
女性部長氏名	青野　幸子	女性部員数	90人
部費 （年間1人あたり）	2，000円	令和元年度 女性部予算総額	2，200千円
設立年月日	昭和47年　10月　25日	設立後年数	47年

おもてなしプラン 名称	神在月とご縁のたび ～ 島根県斐川町商工会女性部によるおもてなし事業 ～		
おもてなしプラン 内容	～出雲神話と古代の歴史を体験しよう！～ ①荒神谷博物館…荒神谷の謎を面白く学べる工夫、出雲の原郷を満喫できる最新機器を駆使した展示など視察できます。 ②道の駅湯の川…日本三美人の湯の「湯の川温泉」の近くにある道の駅ではお土産も買って足湯も楽しめます！ ③地元女性部とランチ…斐川町内の美味しい食事を一緒に楽しみましょう！ ④万九千神社…神在月に神様たちが最後に参集され、直会を催して旅立たれる神社です。全国大会でご講演いただいた錦田宮司様による「特別祈願祭　結び参り」を祈願していただけます。（予約が必要になります。） その他いろんなプランを用意しておりますのでご相談ください。		
受入可能時期	9月～11月	受入人数上限	10人～15名程度
おもてなしポイント	特別祈願祭「結び参り」は、八百万神さまと同じように日本最小級の殿内鳥居をくぐり抜け、心身ともに清らかに整え直して「新たなる旅立ち」「新しい一歩」が始めれるように祈願していただけます。日本三美人の湯「湯の川温泉」の足湯につかり、心も体も癒されましょう！		
全国の女性部へ メッセージ・PR	出雲神話から古代の歴史に触れ、旅の祈願をし、ひと時の思い出を斐川町でぜひ！ 女性部一同皆様のお越しをお待ちしております。		
特色ある 女性部事業	社会福祉活動として家庭で眠っている食品を持参してもらう「フードバンク活動」を実施しており、必要な方へ役立ててもらえたらと思い社会福祉協議会へ寄贈しています。イベント活動にも積極的に参加し、よさこい祭りや商工まつりなどの屋台出店やステージイベントなどに参加し、地域のみなさんと交流をとり、賑やかに盛り上げています。		
市町村の概要	斐川町は、季節風を防ぐため、家の周りに松を植える築地松の風景が、この地方特有の風景で、自然に恵まれとても環境にいい住みやすい街です。日本三美人の湯の「湯の川温泉」があり、天然温泉100％の源泉掛流しでお肌がすべすべになります。		
アクセス方法	斐川町商工会まで　出雲市駅からタクシーで20分 出雲縁結び空港からタクシーで10分 山陰道斐川ICから車で5分		
PRチラシ	別紙のとおり		